

第 1 回学校運営協議会記録

○事務連絡

○配布資料訂正

1 開会

2 校長挨拶及び役員委嘱

協議会の趣旨の確認、本日の開催にあたっては、「学校経営計画」と「国際交流」についての意見を賜りたいと挨拶があった。

3 自己紹介

4 会長及び副会長選出

会長：松尾和彦（富士大学教授） 副会長：菊池久範（花巻市商工会議所青年部会長）。

5 協議

・令和 8 年度 学校概要の説明

在籍状況 - 全校生徒：578 名（1 学年：202 名、2 学年：177 名、3 学年：199 名）。

出身中学校：学区内外を含む 50 校超（盛岡、奥州、一関など学区外からの入学も多数）。

学系（普通科内の 4 学系） 人文学系、自然科学学系、スポーツ健康科学学系、国際科学学系。

(1) 令和 8 年度学校経営計画

・基本方針

令和 7 年度からの大方針は継続。目標達成のための手段は状況に応じ柔軟に見直していく。（教員の働き方改革や生徒の多様性に配慮）。

・変更点（4 点）

①校訓と教育目標の提示方法を再整理し、分かりやすさを向上。

②「育成を目指す資質・能力」の方針にスポーツ健康科学学系・国際科学学系の内容を追加。

③「目指す学校像（家庭・関係団体との連携）」の達成指標を変更：

旧：学年 PTA 参加率 50% 新：地域イベント・ボランティア参加生徒数 100 名以上

④「業務量管理・健康確保措置」の項目を新設（県教育委員会の指示に基づく）。教員の健康確保に資する取組を推進。

【承認】 上記計画は協議会にて拍手多数で承認。

6 意見交換

(1) 国際交流について

・これまでの歩み・直近の取組

コロナ禍で派遣・受入を一時中止後、令和 6 年度にハワイへ派遣（生徒 4 名・教員 2 名）、令和 7 年度にドイツから受け入れを再開。

・令和 8 年度は、令和 7 年度の受入校との連携でドイツ派遣を計画・準備中。花巻市の施策による交流も実施。

・課題認識

①国際情勢の不安定化による安全配慮。 ②保護者の経済的負担。

③教育的意義（国際理解・実践的コミュニケーション）の再確認と、安全・学び・コストのバランス。

・方向性・提案（出席者意見）

海外派遣だけに依存しない国際理解の多様化 を検討する必要がある。

市内在住の外国人（技術実習生・留学生・就労者等、特にフィリピン系が多数）との交流機会の創出。

国際フェア等の準備段階から共同で企画・制作・販売を行い、文化部・ダンス部などの発表機会を拡充。

高校生・大学生・社会人を交えた段階的な英語コミュニケーション機会（オンライン/対面）で自信形成を支援。

費用低減策の工夫：渡航時期の最適化（繁忙期回避、2月/6月等の検討）、

学校主導のコーディネーションによりコスト抑制。

資金調達・支援：同窓会による基金・寄付・スカラーシップの創設・拡充。

商工会議所・商工観光協会ネットワークを活用した企業スポンサーの獲得。

行政の補助・公共施設の活用（花巻駅周辺施設等）を組み合わせた低コストプログラムの構築。

ホームステイの受入課題：受入家庭の心理的・実務的ハードルを踏まえ、小規模・短時間交流や学校内イベント経由の段階的受入モデルを検討。

派遣の教育的価値：少人数でも派遣機会は維持し、自己開拓力・多文化理解の涵養に繋げるべきとの意見多数。

【対応】国際交流は、ドイツ派遣の準備を進めつつ、地域に根差した国際理解活動を並行推進する方針で合意。

本日の意見を国際交流委員会で精査し、具体施策（国内交流と海外派遣のハイブリッド）を検討。

(2) 本校の魅力化における課題について

- ・ 魅力（自由度と柔軟性）：「自由/緩さ」が個性の発揮・主体性の育成に資するとの評価。選択した活動（例：運動部）では高い規律で取り組む「選択的な厳しさ」との両立ができています。
- ・ 卒業生・保護者から、居心地の良さと成長機会に関する肯定的な声多数。
- ・ 中学生からの人気・ダンス部の注目度も高い。
- ・ 課題（公共空間でのふるまい・安全）
 - 一部に「高校生らしくない」ふるまいが見受けられるとの意見があり、自由を尊重しつつ指導の丁寧化が必要。
 - 自転車ヘルメット着用：5月の花巻駅東口調査で着用率17%と低水準、当校生徒の影響が大きいとの指摘。
義務化への対応は、働き方改革と罰則運用の現実性も踏まえつつ、安全最優先で周知・指導を強化。新通知・制度変更への順次対応を検討。
- ・ 地域連携・ボランティア：前年度の地域イベント等ボランティア参加は学校把握分で114名（未把握分を含めると更に多い見込み）。拡充と実数把握精度の向上を目指していくべきとの意見。スポーツ大会や文化施設イベントでの支援参加に意欲が見られる。

7 その他

(1) 令和7年度部活動成果報告

- ・ 高校総体等の競技実績（速報）
 - ソフトボール部：県上位で健闘（決勝進出）、高い完成度と守備力で優勝期待。
 - バレーボール部：準優勝。東北・全国大会レベルでの活躍者も輩出。
- ・ 結果にかかわらず挑戦の継続が成長に資するとの評価で、今後の飛躍に期待。

(2) 令和7年度進路概況報告

- ・ 進学：北海道・首都圏・関西・沖縄など全国へ進学。分野は人文・経済・教育・国際系、理工・看護・医療系等の幅広い学部。
- ・ 就職：県内就職が中心（例：県内21名、県外1名との報告）。製造業等へ幅広く就職。
公務員は7名合格（うち6名が県内、警察・消防等）。
- ・ 資格・技能：複数生徒が各種資格取得を進めており、個々の志向に沿った指導を継続。

8 閉会